

舞い上がれ！鯉のぼり



日時：令和3年4月20日(火)～令和3年5月10日(月)

会場：なでしこ公民館

季節の風物詩として鯉のぼりを揚げました！鯉のぼりの意味や歴史を忘れていた人も多いたはず。そこで、ただ鯉のぼりを揚げるのではなくパネルと一緒に展示し、楽しんでいただきました。

舞い上がれ！鯉のぼり

なでしこ公民館では、今年も鯉のぼりをあげます。海の近くにあるなでしこ公民館では、南風がよく吹き、鯉のぼりがたくさん泳いでくれます。5月10日頃まで、天候が良い日中にあげますので、ぜひ、ご覧ください。

鯉のぼりの歴史

【諸説あり】

屋根より高い鯉のぼり♪5月5日は端午の節句です。江戸時代から始まったとされ、家の後継ぎとして生まれた男の子が無事成長していくように願い、鯉のぼりを飾ります。もともとは、中国の伝説に登場する「龍」に関係していると言われていたのですが、鯉は、とても生命力があり、大きく丈夫で、きれいな川以外でも生きていくことができるため、男の子に強くたくましく育ててほしいという願いが込められています。江戸時代の鯉のぼりは、和紙で作られていました。現在のようなナイロン製やポリエステルになったのは昭和に入ってからとも言われています。長い歴史の中で現在のような形となった鯉のぼりですが、生まれた男の子が無事成長していくようにという願いは今も昔も変わっていません。季節の風物詩には、それぞれ意味があります。調べてみると面白いですよ。